

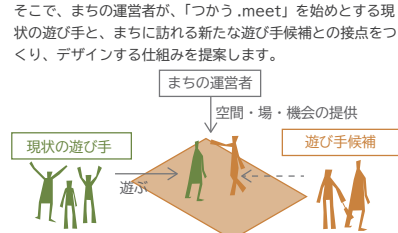
# ヒカリでつなぐ、マチの遊び手

「遊び手」は、マチナカの様々な空間を使って、自分たちの思いの活動をする人々のことを指します。三河安城の駅前で「光」を使いながら、遊び手のつながりを広げていくことを提案します。

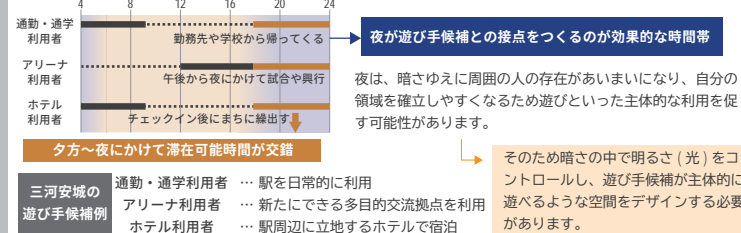
## 1 遊び手づくり・遊び手リレー

「マチナカ」で活動をしている人々は、そのマチの魅力を作り出す一つの大きな要素です。三河安城では、「つかう.meet」等の活動によって、マチの遊び手が集まっています。また、今後多目的交流拠点（アリーナ）の完成により、より多くの人三河安城を訪れることが想定されます。

みんなで使い続けたいマチにするためには、「つかう.meet」が提供する場で遊ぶ人々と、こうした三河安城を訪れる人との間で接点をつくり、遊び手を増やしていく必要があります。

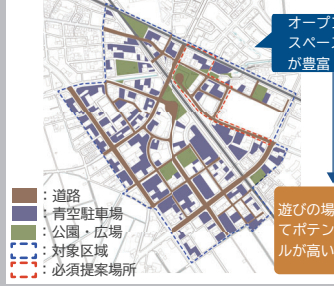


## 2 夜への着目



## 3 オープンスペース

三河安城のオープンスペース（広場、公園、道路）

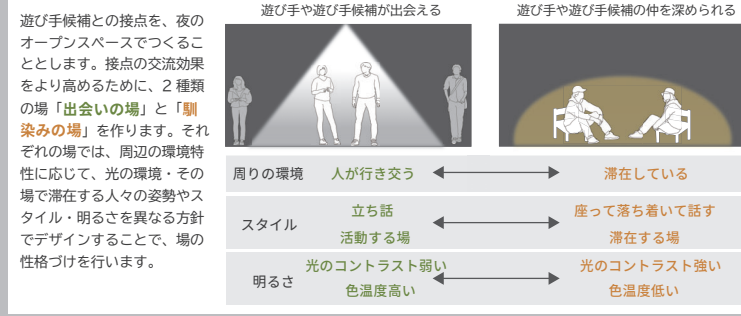


高所からの画一的な照明 ざらんとした空間

広さが目立つ画一的な空間

三河安城には、豊富なオープンスペースが広がっており、広くて自由度の高い空間であることから、遊び手同士の接点の場としてポテンシャルが高い空間です。しかし、現状では画一的な高所からの照明で照らされており、夜間の滞在環境・居心地は良くありません。

## 4 出会うの場、なじみの場

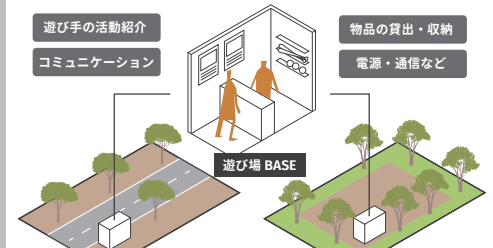


## 5 全体計画

三河安城駅周辺に豊富に存在するオープンスペースのうち、人々が往來するストリート空間を「出会うの場」、人々が滞留する公園・広場・施設の空間を「馴染みの場」として位置付けます。



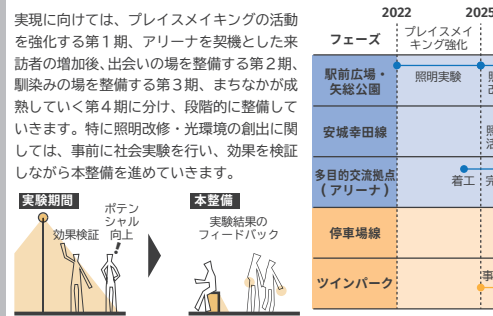
それぞれの「出会うの場」「馴染みの場」では、まちの遊び手たちの活動拠点「遊び手BASE」を整備し、遊び手を支える様々な機能を担います。



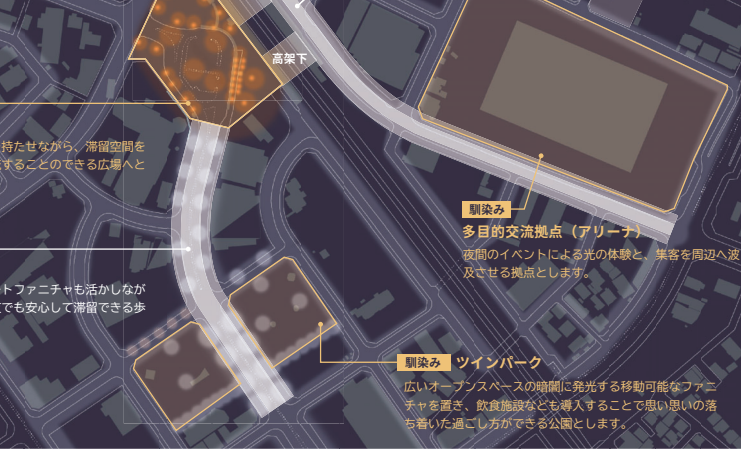
## 6 事業のステークホルダー



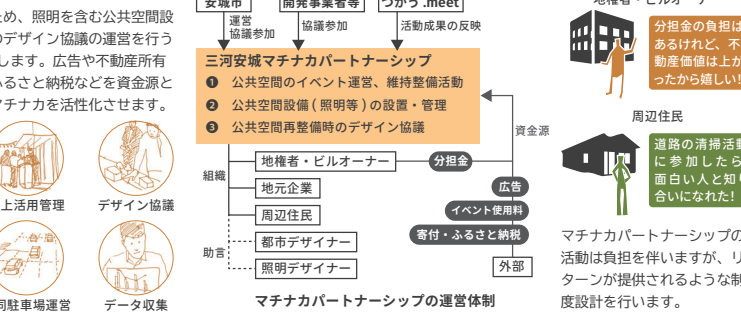
## 8 実現に向けたタイムライン



## 9 広域の目標像



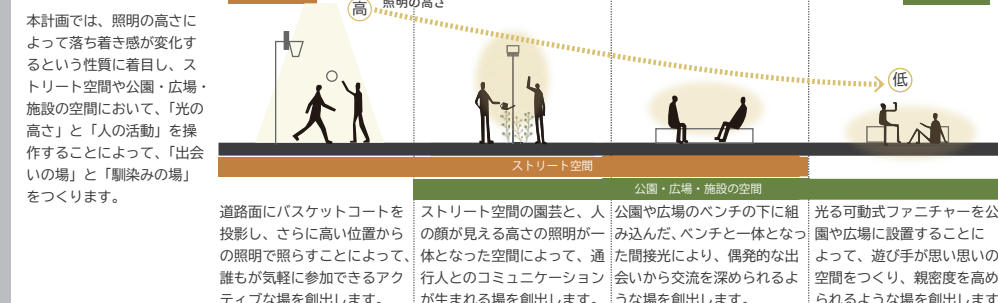
## 10 空間デザインの方針



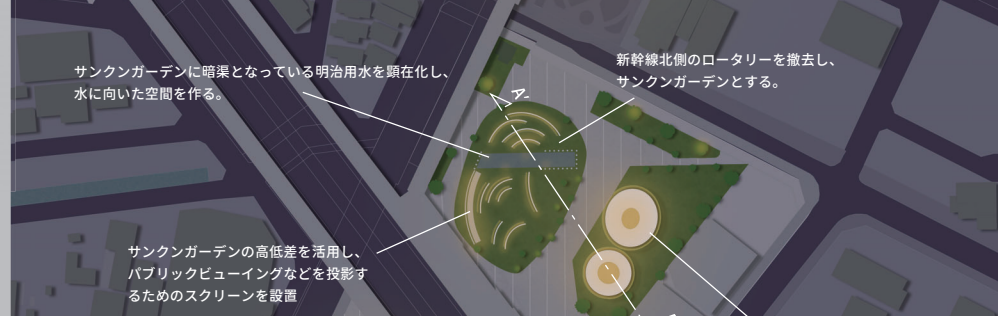
## 11 詳細提案 駅前広場



## 12 詳細提案 ツインパーク



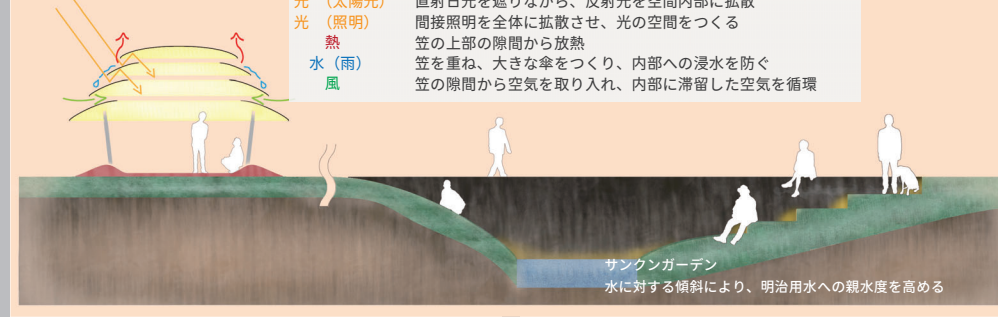
## 13 詳細提案 矢総公園



## 14 詳細提案 安城幸田線



## 15 詳細提案 安城幸田線断面図



## 16 詳細提案 ツインパーク



## 17 詳細提案 ツインパーク



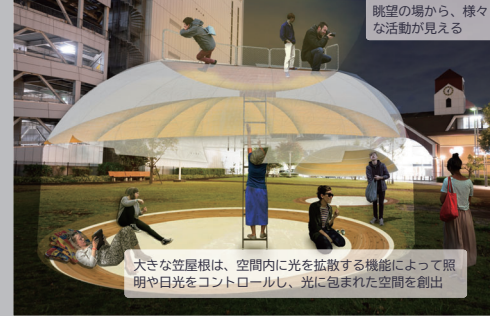
## 18 詳細提案 明治用水



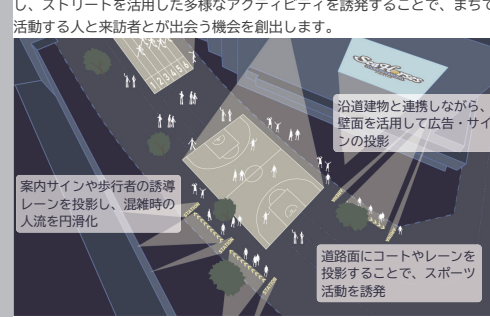
## 19 詳細提案 駅前広場



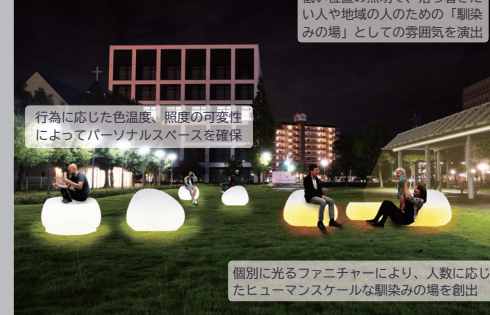
## 20 詳細提案 矢総公園



## 21 詳細提案 安城幸田線



## 22 詳細提案 ツインパーク



## 23 詳細提案 停車場線

